



3Dプリンタの利活用をデータ作成から製品完成まで、一貫して提供する革新的サービス事業

長崎県の製造業では、試作の迅速化・生産性向上による納期の短縮化は喫緊の課題である。そこで当社の3D関連設備を活かし、3Dデータ作成から製品完成までの一貫したノウハウを学び、業容拡大を図るための支援事業を目指すことを目的としている。

1 本事業への取り組みの経緯

新聞紙面やテレビなどで連日話題として取り上げられている3Dプリンタ。今後急速に普及していく事は確信できるものの、都心部と比較すると地方ではまだまだ馴染みがない事に加え、3Dデータに熟知した人材が少ないのも事実。そこで、いち早くこの分野に取り組むことにより、新技術の情報発信及び人材教育を行い、県内に3D関連機器を扱える技術者を増やしたいと考えた。



2 実施内容

実施した主な事業は①漁礁のモデル案を3Dプリンタにて作成 ②建築模型の部品を3Dプリンタにて作成 ③3Dスキャナを使用し、生産中止となった部品を3Dプリンタにて複製 ④3Dスキャナにより、人物をスキャニングしフィギュアを作成 ⑤工業団地計画の造成地を3Dプリンタにて作成 ⑥工業部品の試作品を3Dプリンタにて作成 ⑦青少年の科学技術発展のため行われている「科学の祭典」への出店等。

特に①の漁礁モデル案は、アワビ養殖用向けである。天然アワビは最盛時の約1/10に減少しており、新型の漁礁を開発しアワビの生産力を増改させることを目的に、提案された漁礁のアイデアをいち早く実体化した。その後打ち合わせ等を円滑に進めることや、実証実験のための縮小サンプルとしての使用を目的に3Dプリンタを活用した。



3 取組成果・波及効果

本社社屋の1階に実験工房として『電腦工房 3D Dejima』をオープン。いくつかのメディアにも取り上げられたことや、口コミ効果などもあり各方面より問い合わせや見学の依頼を受けるケースが増えてきた。また、学校授業の一環として工房を利用できないかとの相談を受けた。さらに某製造業者より2次元データの持ち込みがあり、データの3次元化及び3Dプリンタでのモデリングを行い、製品化に向けてのプレゼン資料としての利用があった。波及効果としては、工房をきっかけに今まで取引がなかった企業との関係ができたり、本業であるシステムの商談を受けるきっかけにもなっている。

事業者

オフィスメーション株式会社

代表者

石橋 洋志

所在地等

〒850-0037 長崎県長崎市金屋町2-6

TEL 095-822-7201

FAX 095-825-1265

<http://www.nagasaki-om.co.jp>

kishbashi@nagasaki-om.co.jp



設立年月

昭和55年5月

資本金

1,000万円

業種

OA機器の販売・保守、ソフトウェアの開発、インターネットデータセンター

従業員数

72名

今後の展望・活動予定は?

よくご相談を受けるのが、ある程度の数を見込んだ製作が3Dプリンタでできるのか否かということです。正直に申し上げて3Dプリンタは大量生産には向いておりません。あくまで試作品を作り、製品化(大量生産)するかどうかの判断材料として造形物をご利用いただくことに価値があると感じております。まだ一般の方々に浸透していない情報や利活用の方法などをビジネスフィールドだけにとどまらず、趣味としての活用もできる様に積極的に情報を発信していきたいと考えています。



代表取締役社長

石橋 洋志

(3Dプリンタで作成)